

R4開始

ごのへまち 五戸町(青森県)

主な品目

♣野菜(にんじん等)



実施体制

五戸町、町内農業者、畜産農家、物流・小売・加工業者 等

面積情報

有機農業取組面積:4.0ha
耕地面積に占める割合:0.1%
(令和5年度時点)

1 背景・課題

五戸町においては、移住してきた農家を中心に有機農業の取組が拡大してきた。生産者から有機農業に対する理解を得ることや、栽培技術の習得が困難であり、慣行農業から有機農業への転換が図られにくいことが推進における課題となっている。

2 成果目標

有機農業の取組面積の拡大
R4年度 3ha → R9年度 6ha
有機農産物の販売数量の拡大
R4年度 13 t → R9年度 15 t
有機農業に取り組む農業者数の増加
R4年度 2人 → R9年度 5人

3 主な取組内容

生産

- 有機農業先進地への視察研修の実施
- 土づくり、栽培方法等に関する技術講習会の開催(今後実施予定)
- 有機農業への転換に係る講演会の開催(今後実施予定)
- 有機農業推奨地域の選定(今後実施予定)
- 独自商標の策定(今後実施予定)

加工・流通・消費

- 有機農産物を利用した加工品の試作
- 学校給食への有機野菜の導入
- 加工製造に係る設備導入支援の策定
- SNSを活用したオーガニックビレッジ宣言及び取組の周知
- オーガニックマルシェ等イベント支援の策定(今後実施予定)



給食に使われる有機野菜の写真・搬入風景等をSNSを通じて発信。



試験導入を実施後、町内の全小中学校の学校給食に有機栽培野菜の毎月導入を開始。



小学生を対象に、地産地消や食育も兼ねて、有機栽培農家による給食に使われている野菜の紹介、解説を実施。

4 これまでの成果

令和6年6～7月に町内小中学校7校の学校給食に有機野菜を試験導入。

令和6年8月から町内小中学校7校の学校給食に有機野菜を毎月導入を開始。

【有機給食の実施回数】

令和6年度6～7月 試験導入2回(3品目47kg)

令和6年度8月以降 毎月導入(合計12品目2,769kg)

5 今後の展望

今後、有機農業を更に推進していくためには、有機農産物の消費拡大や更なる販路確保、慣行農家が有機栽培へ関心を寄せるようなブランド力が必要となる。今後は、課題の解決に向け、県外も含めた他市町村と連携した消費拡大、地域に根差した独自商標の策定や慣行農家が有機栽培に触れる機会の増加に取り組む。

問い合わせ先

五戸町農林課 TEL:0178-62-2111(内線266)